（参考）京都府生産性向上・人手不足対策事業費補助金 勉強会・ワークショップ事業　実務家等の講師リスト

№	大分類	業種	企業名	取り組みテーマ	労働生産性向上の事例　など
1	製造業	非鉄金属製造業	ヒエン電工　株式会社	分散機導入による難燃性と接着性を併せ持つ難燃性接着剤、及び導電性と接着性の機能を併せ持つ導電性接着剤の生産性向上の実現	大量生産時にも、従来と同じ品質・性能を実現する標準化と、大量生産による生産性向上とコストダウンによる価格競争力を向上させた。
2	製造業	金属製品製造業	株式会社　ガルーダ精工	マシニングセンタ導入による自動車部品加工用特殊工具部品の高品質・短納期確立	非常に難易度の高い加工を分業で担当していたが熟練作業者の高齢化のリスク回避のため顧客より、加工技術を承継、一貫生産することを受諾。技術承継を機会に生産効率の向上と多能工化を図るべくマシニングセンターでの加工に切り替え、一貫加工が可能となった。熟練者が行っていた微妙な作業は自社内での非熟練作業者による一貫加工が可能になった。
3	食品製造	食品製造業	株式会社　上尾製菓	京和菓子の一貫生産能力を活かした小ロットOEM受注体制の構築	京和菓子の小ロットOEMの受注拡大を行ううえで、手作業が中心のため、製造ラインの一部を機械化することにより、余裕人員を手作業ラインへ配置転換を行うことで生産向上を図った。
4	製造業	金属製品製造業	株式会社　波多野製作所	電気自動車向け新規試作品による販路の拡大	受注の50%超の製造シェアを占める自動車産業界の中でも電気自動車向けの軽量・超短寸ねじの製造可能な設備を導入。需要に対する供給を意識した労働生産性の向上に取り組んだ。
5	製造業	はん用機械器具製造業	NKE 株式会社	京くみひもを利用した高効率空気圧人工筋肉駆動アシストロボットの開発	需要に対応した生産性向上に資する取組み、空気圧人工筋肉の性能向上・細径化を行い、衣服感覚で着用可能でスタイリッシュなパワーアシストロボットの試作と評価を実施した。
6	製造業	はん用機械器具製造業	株式会社 衣川シャーリング	社内データベース活用による一貫製造技術の高度化事業	①CADデータを使ったリードタイム短縮②多量製品の受注獲得③曲げ加工限界見極め、曲げ加工技術の形式知化（加工技術を形式知化）を実施、ベンディングマシンの導入、社内ネットワーク化により、設備能力を向上させ、外注高精度化、高効率化を目指した。
7	繊維染色	繊維工業	株式会社 京都紋付	京黒紋付染の技術を活用し衣類を黒く染め直して価値を上げる「KURO FINE」プロジェクト	受注システムを導入し製品情報（素材、重量、アイテム名）を消費者から事前に入手することで、適切な仕分けを可能にし、脱水工程の品質管理が向上したため、職人が絞る際に与えていた衣類への負担が大幅に軽減された。発色ムラもなくなり、約92%だった歩留率がほぼ100%まで向上した。染色工程と脱水工程の作業時間が大幅に削減され、コスト削減、収益力、生産性の向上に繋がった。
8	製造業	機械器具設置業・電気工事業・管工業	株式会社 マイギ	電気計装分野における3Dレーザースキャナー導入による事業効率の向上	電気計装分野における手作業による現地寸法計測を、3Dレーザースキャナーと3Dキャドの導入により安全、短納期、高精度の図面作製技術を構築した。また、点群データを自動編集する専用ソフトを用い、編集作業の短縮、高効率化を図った。
9	サービス業	技術サービス業	株式会社 エムアールサポート	クラック、わだち、切削量のボリューム調査および縦横断調査のワンストップ化計画	「調査対象道路を持ち帰りオフィスで測量できる」ようになった。欲しくなる「全部」の情報が予め計測されており手戻りや補足なしに「全部出来る」ようになった。また、大幅な精度向上と特に現場作業が大幅に効率化され、さらには障がい者も働けるダイバーシティインクルージョンの実現にも繋がった。
10	卸売・小売	各種商品卸売業	大橋商事　株式会社	既存製品の増産とECサイトによるブランド肉加工品自社販売への挑戦	ギフト需要などが好調だったため、加工食品事業に参入、生産性を向上させ、生産能力拡大を可能にする設備投資を実施した。高速スライサーとX線検査機を導入し、これまでの5倍、年間30万パックの加工能力を確保することができ、生産性の大幅な向上を実現した。
11	製造業	その他製造業	株式会社　鐵工社ブル	NC加工機導入による、生産力向上、短納期化、技術継承の解決	サイレンサー製作のため、NC機械の導入を行い、生産量の増量・リードタイム短縮・短納期化・若手作業員への技術移転を実現した。
12	サービス業	情報系/生活系/エレクトロニクス系事業	TOPPAN 株式会社	「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」3事業分野のコラボレーションによるトータルソリューションで、社会の課題解決	情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」の 3つに分けられます。TOPPANの強みである「印刷テクノロジー」をベースに、それぞれの事業分野は発展、多角化してきました。多様な課題への対応が求められる現代において、3事業分野のコラボレーションによるトータルソリューションを提供することで、多くのお客さまや社会の課題解決に取り組む。
13	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	株式会社京都みえる化デザイン研究所 代表　平澤 貴啓	＜専門業種・分野＞ 生産管理 ＜活動領域＞ 診断・生産・情報	大手製造業の工場を日本、オランダ、中国と12年間経験。製造業の生産性改善に携わり、生産現場から経営戦略まで悩み事の「みえる化」を支援。
14	製造業	生産用機械器具製造業	生田産機工業株式会社	3Sをきっかけとした中核人材の育成・組織づくり	
15	製造業	鋳物、オートリール（ケーブル・ホース自動巻取機）	洲崎鋳工 株式会社	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、 5T（定位置、定量、定方向、表示、標識） など	「京都マネージメント研究会」では、同じ問題意識を持つ中小企業が集まり、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）を通じて「事業革新」と「生産革新」を実現し、企業をよりよくしていくことを目的に活動。事務所や生産現場を見学し、5Sの実施状況や改善点を見出すとともに、その結果を研究会のメンバーで共有。 ※左記企業は、研究会のメンバー
16	製造業	精密機械部品加工	株式会社 長濱製作所		
17	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	株式会社 アティックフェイス 代表取締役　顕谷 敏也	＜専門分野＞ 生産工学、生産管理、原価管理、品質管理	1986年シャープ㈱に入社。情報システムの構築、大型液晶テレビ工場の立ち上げ、サプライチェーン設計、工場の生産改善指導、人材育成等に従事。2012年に独立し、生産性改善オフィス㈱アティックフェイスを設立。製造業を中心に生産性改善、業務プロセス再構築などを支援している。
18	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	株式会社Gns 代表取締役　渡邊高行	生成AIを活用した営業・バックオフィス業務の生産性向上	生成AIを活用し、営業担当者が顧客ニーズに基づいた提案書を迅速に作成。また様々なツールを横断して活用し、バックオフィス業務における生産性の向上をおこなった。
19	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	NPSソリューション 代表　吉植久正	IE手法（工程分析、動作分析、WS、DTS）による徹底したムダの排除における現場改善	オムロン㈱本社及び事業部にて生産革新活動の推進として、 各工場に対し、改善活動を支援する。 定年後、独立し、コンサルタントとして活躍中。
20	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	株式会社SMC 代表取締役 松田 龍太郎	1. 5S活動 2. ムダとり、見えるムダと見えない+気づかないムダも紹介します 3. 目で見る管理（5S＋ムダ取り＋目で見る管理の3つでも可能です） 4. ポカヨケ、ポカミスの撲滅 5. 標準作業、現場観察の仕方 6. 段替え改善 7. 簡易自働化、お金を掛けないからくりの原理原則も紹介します 8. ヒューマンエラーと工場マネジメント 9. お金をかけないですぐに改善をやる方法、改善を数値で評価していきます 10. 工場＋セル生産ラインのレイアウト改善 11. これらの組み合わせ　例：簡易自働化とポカヨケ、ムダとりと目で見る管理など	1953年　鳥取県東伯郡琴浦町出身。1974年　3月　現オムロンスイッチアンドディバイス社(旧オムロン倉吉)入社。1986年　技術から製造に異動後、トヨタ生産方式の普及に専念する。2000年　1月東京五反田の有限会社エス・ビイ・エス経営研究所入社。翌月より、ドイツを中心に12カ国にわたり、数々のコンサルティングとセミナーを開催。欧州を含め国内と合わせて、70社以上、210工場以上の現場改善をコンサルティング。
21	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	株式会社ジェック経営コンサルタント 取締役営業本部長 髙田　忠直	1.現場改善の基礎知識 現場改善の必要性と目的、現場改善と生産性向上の関係性 2.成果を高める改善手法とその実例 現場改善の具体的な手順、IE手法とQC手法、QCDの視点から見る改善活動実例 3.自社の改善活動プランの検討 自社の現状を見つめて、生産性向上の可能性を考える、現場リーダーの必要性と期待される役割	2000年に株式会社ジェック経営コンサルタント（富山県）に入社し、製造業・運送業・倉庫業・食品加工業・飲食業など、幅広い業種で現場の声に即した「実践型」の支援を展開。幅広い業種に対して5Sを活用した企業体質改善の支援に取り組み、製造業では品質改善及び現場改善の推進とそれらを通じた管理者の成長、運送業では無事故・経費削減とドライバーの意識改善、飲食業では接客改善と予約件数増加等、多数の支援実績と成果を誇る。また、2016年には海外（カンボジア）での5S活動研修を実施。
22	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	株式会社角野品質管理研究所 代表取締役　角野久史	食品衛生7S概論 食品衛生7SはHACCPの土台 ATPふき取り検査の原理と応用 ～食品分野から環境管理全般へ～ 事例のワンポイント解説	京都生協に入協、支部長、ブロック長を経て、お客様相談室でクレーム対応・品質管理業務に従事。その後、㈱角野品質管理研究所を設立し現在に至る。 NPO法人食品安全ネットワーク理事長等の要職を担い、7Sの提唱者の一人として高く評価されている。
23	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	中小企業診断士合同会社 Business Departure 代表社員 多田　知史	■専門業種・分野 経営戦略や事業戦略の企画及びマネジメントの支援 商品企画・商品開発・マーケティングの支援 技術企画・技術開発の支援 業務改善・生産性向上の支援 ■活動領域 新事業開発、新製品開発、マーケティング、業務効率化、等	S61年3月、関西大学大学院工学研究科電気工学専攻 博士前期課程修了（工学修士） S61年4月、日新電機（株）に入社し、電力品質対策・エネルギー関連システム等の製品開発、営業技術、事業部門マネジメント、事業企画、技術企画、企業連携や産学連携に従事。 H19年7月、日新電機（株）を退職し、独立
24	学術研究、専門・技術サービス業	コンサルティング	㈱メックソリューション チーフコンサルタント 福田 一喜	1.工場長はモノづくり環境の変化に敏感であれ ・少子化とワークエンゲージメント ・従業員の多様性 2.工場長の役割について再認識しよう ・工場長はQCDを改善する事ができる ・工場長は収益をきっちり数字で管理することができる ・組織と人材育成に優れた工場長 ・工場長は技術開発にも力を入れなければならない ・安全、環境、法令順守も工場長がおさえなければならない 3.経営視点と現場の視点を両立するのが工場長 ・経営視点で長期的な戦略の方向性を定める ・現場視点で中期的なものづくりの基盤を整える ・人と組織を動かして課題を完遂する 4.明日から始めたい　工場長としての思考と行動 ・工場長としての思考と課題形成力 ・部下を巻き込むコミュニケーション力 ・工場を変える！人材を変える！徹底3S活動	1982年立石電機㈱入社。光通信事業部部長、オムロンネットワークプロダクト会長。 オムロンオートモーティブエレクトロニクス総経理を務められ、2018年より国内外でコンサルティング・指導を行う。

※異業種の取組事例を参考とするため、講師リストに記載されている企業等に、勉強会・ワークショップ等の講師として依頼されたい場合は、まず京都府中小企業団体中央会（電話：075-708-3701）にお問い合わせください。

※上記講師リストに記載されている企業等への直接の連絡はお控えください。